



2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 サンワテクノス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 松尾 晶広
(コード番号 8137 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員管理本部長 的場 孝成
(TEL. 03-5202-4011)

**通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び
期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、通期連結業績予想を以下のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、2026 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議するとともに、期末配当予想を修正しましたので、以下の通りお知らせいたします。なお、当社は会社法第 459 条第 1 項に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行う旨を定款に定めております。

記

1. 2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正について（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2026 年 5 月 8 日公表）	百万円 173,000	百万円 6,000	百万円 6,200	百万円 4,200	円 銭 270.01
今回修正予想（B）	190,000	7,640	7,900	5,500	352.75
増減額（B－A）	17,000	1,640	1,700	1,300	—
増減率（%）	9.8	27.3	27.4	31.0	—
（ご参考）前期実績 （2026 年 3 月期）	148,329	4,058	4,776	3,265	212.35

修正の理由

当社グループが関連する産業用エレクトロニクス・メカトロニクス分野において、AI 関連需要の拡大が続いていることから、半導体製造装置業界をはじめ各業界からの需要が堅調に推移しております。また、人手不足を背景とした省力化・効率化投資も続いております。加えて、脱炭素化に向けた再生可能エネルギー関連投資の増加を背景に電力系統の安定化の需要が高まり、蓄電池システム関連の大型案件も継続しております。

このような環境の中、業績は 2026 年 5 月 8 日公表の予想数値を上回る水準で推移しており、当第 2 四半期累計期間実績及び直近の受注動向を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額 等	直近の配当予想 (2026 年 5 月 8 日公 表)	前期実績 (2026 年 3 月期中間)
基準日	2026 年 9 月 30 日	同左	2025 年 9 月 30 日
1 株当たり中間配当金	70 円 00 銭	65 円 00 銭	60 円 00 銭
配当金総額	1,093 百万円		913 百万円
効力発生日	2026 年 12 月 1 日		2025 年 12 月 1 日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	年間配当金			連結配当性向	連結株主資本 配当率 (DOE)
	第 2 四半期末	期末	合計		
前回発表予想 (2026 年 5 月 8 日公表)	円 銭 65 00	円 銭 65 00	円 銭 130 00	48.1%	4.38%
今回修正予想	—	70 00	140 00	39.8%	4.59%
当期実績	70 00	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	60 00	62 00	122 00	57.5%	4.27%

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけております。毎年の配当金につきましては、連結株主資本配当率（DOE）4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施してまいります。

当期（2027 年 3 月期）の年間配当金につきましては、2026 年 5 月 8 日に公表した当初予想において、前期実績 122 円から 130 円へ、8 円の増配を予定しておりました。

今回、通期連結業績予想の上方修正を踏まえ、株主の皆様への利益還元を強化する観点から、中間配当金および期末配当予想をそれぞれ 5 円引き上げることといたしました。この結果、年間配当金は当初予想 130 円から 140 円へと追加で 10 円増配となり、前期実績 122 円からは合計 18 円の増配となる見込みです。

当社は、今後も DOE 4.0%以上を目安とした配当方針のもと、成長投資及び株主還元のバランスを図りながら、業績に応じた増配を継続して検討してまいります。

以 上